

改善報告書

令和元年 7 月 26 日

1. 大学名：神戸山手大学

2. 認証評価実施年度：平成 28 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2－1

○現代社会学部総合社会学科及び観光文化学科の収容定員充足率がそれぞれ 0.7 倍未満なので、収容定員の充足に向けて改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2－1 について

現代社会学部全体の入学者数は、平成 27 年度（入学定員 220 人に対し 147 人、入学定員充足率 66.8%）、平成 28 年度（入学定員 200 人に対し 147 人、入学定員充足率 73.5%）と、2 年続けて入学定員はもとより、目標数の 190 人を確保することができなかった。

このような状況を踏まえ、教授会構成員から学長が委嘱する委員で構成される「入試委員会」と事務組織である「入試課」を中心としたこれまでの学生募集体制を抜本的に見直し、平成 29 年 4 月より、新たに「入学センター」体制を構築した。入学センター長には副学長を充てるとともに、「入学センター運営委員会」の委員は、学長及び学部長、入試委員長、キャリアセンター長、国際交流センター長、学科主任、法人本部長、大学事務局長、入学センター付課長などで構成し、学生募集や入学者選抜方法の企画、調査、研究を行うとともに、全学的かつ総合的な学生募集活動等の推進に努めるなど、さらなる改善・強化を図った。

その結果、現代社会学部全体の入学者数は、平成 29 年度（入学定員 200 人に対し 145 人、入学定員充足率 72.5%）は前年度並みであったものの、平成 30 年度（入学定員 200 人に対し 260 人、入学定員充足率 130.0%）、令和元年度（入学定員 200 人に対し 259 人、入学定員充足率 129.5%）と 2 年連続で 100%を超える入学定員充足率を記録した。

これに伴い、現代社会学部全体の収容定員充足率も、平成 29 年度以降 59.2%→72.4%→93.1%と着実に改善し、令和 2 年度において入学定員 200 人を確保できれば、収容定員充足率 100%以上という目標達成が確実的な状況となっている。

なお、平成 29 年度以降の学科別収容定員充足率をみても、「総合社会学科」は 61.1%→88.2%→111.5%と推移し、令和元年度において 100%を超える状況である。一方、「観光学科」（令和元年度より観光文化学科から学科名称変更）は、57.2%→61.7%→80.4%と上昇しており、改善途上といえる。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2－1 の資料

・神戸山手大学 入学者数等の推移（過去 10 カ年）

以上